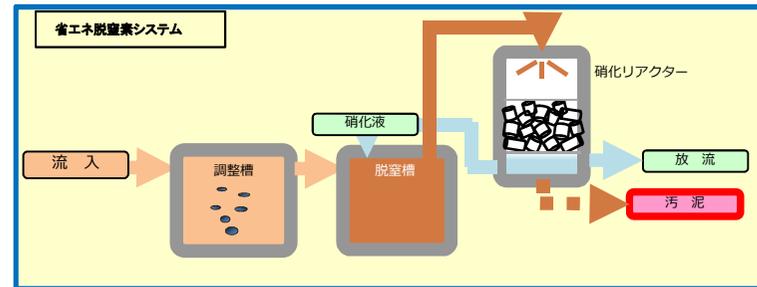
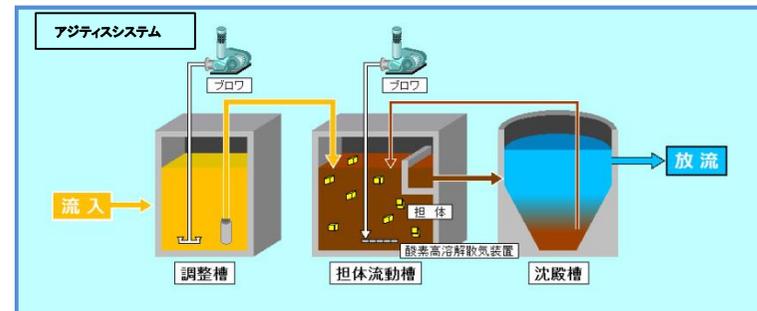


リノベーション・実証の概要

- ・フィリピンの病院排水施設では、設備運転方法が十分理解されず、電気代の負担が大きい為、設備機器が停止状態になっていることが見受けられる。その結果、排水基準を超える未処理水が放流されて水質汚濁の問題が緊急課題になっている。
- ・本事業では省エネルギーで適切な排水処理の実現に向けて「担体流動システム(アジティス)」と「省エネ脱窒素システム」を現地状況に適合可能とするようリノベーションする。省エネ型浄化槽技術の普及を通じて、低炭素社会の実現を目指す。
- ・フィリピン国立病院を対象に、システム化、パッケージ化し排水処理装置のガイドラインを作成するための実証試験を行う。



対象とする国・地域の概要

フィリピン国では法律で、病院にも排水基準が適用されているが高次の排水処理装置の追加整備等が進んでいない。再生可能エネルギーの開発及び省エネの推進がテーマされており、低炭素かつ省エネ設備での普及が期待されている。



地図データ©2019 Google

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

- STEP1: 現状把握 水質調査、目標水質への基本設計
- STEP2: 実証化設備建設 稼働 各種データ収集と分析
- STEP3: システム化パッケージ化の完成 排水基準達成

普及の見込み

遠隔監視による維持管理業務を目的とした合弁企業を現地で設立。JCM設備事業により省エネ分散型生活排水処理装置の設置を推進し全国の病院を対象に普及化活動を展開。商業施設・モール、住宅団地、ホテル、集落等へ装置導入とO&Mを進める。